

# 令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人石井学園 八幡みなみ幼稚園

## 1. 本園の教育目標

一人ひとりの人格を尊重し、望ましい環境の中で、知育・徳育・体育のバランスのとれた豊かな人間形成の基礎を培う。

- ・身体的発達を助長し、健康な生活の基礎的習慣を養う。
- ・幼児期の純粋な好奇心を育て、思考力、表現力を高める。
- ・自然と親しみ、感謝や感動の気持ちを持てるよう、優しい心情と豊かな創造性を養う

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標の内容を職員間で再度確認し共通理解を図る。それに沿った保育内容の改善・工夫等、実際保育にかかわる保育者の育成に努め、質の高い幼児教育を提供できるよう教育活動の実施に取り組む。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教職員のスキルアップ	B	WEB研修から外部へ出向く研修も少しずつ増えて若手教諭にはよい刺激となり保育実践の中で成果を上げることができるようになってきている。 自己評価では個々の保育を見直す機会となり職員全体で反省点と今後の課題を確認できた。先輩教諭の助言で苦手を克服していく後輩教諭の姿も見られた。
2	安全教育	A	引き続き安心安全な園内環境に取り組んできた。コロナ禍のため家庭で外遊びをする機会が少なく、固定遊具の安全な遊び方を把握できていない子供もいて、怪我無く遊べるよう指導してきた。新型コロナウイルス感染症予防対策も徹底して安全確保に取り組んでいる
3	預かり保育教育環境整備	B	長期休み（夏休み・冬休み・春休み）の預かり保育利用が増え、部屋や友だち等、いつもと違う環境に戸惑う子どもも少なくないため、安心して一日を過ごせるよう配慮し、遊びも工夫し、取り組んでいる

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	上記の項目について全職員で取り組んできた。研修等で職員の意識も高まってきている。常に保育内容の見直し、改善を行っているが、長い目で教育活動の充実に努力しながら具体的な成果を上げていきたい。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	特別支援の必要な子への対応	研修会にもできるだけ参加して学び、専門機関、保護者との連携を密に該当児に寄り添っていけるよう指導体制の確立を図る
2	保護者、地域との連携	感染対策を取りながら地域の方や小学校との交流も復活させて行事も、改善しながら子どもも、保護者も楽しめる形へと考慮していく。
3	豊かな人材の確保	近年、幼稚園への就職希望者が減少している。教育実習を通して幼稚園教諭の仕事の魅力を伝えていきたい。

## 6. 学校関係者の評価

幼稚園に入ると、園庭で子ども達のがびのびと遊んでいる姿があり、いつもうれしく思います。今年度卒園する子ども達はコロナとともに過ごした3年間で、従来の園生活、行事が経験できず、また保護者も制限のある参観日や運動会等で戸惑いを隠せないことばかりでした。

その中で、連絡アプリでの細やかな連絡や、ホームページでの保護者向けブログで子どもたちの日頃の様子や行事の場面を映像で伝えていただいて、園への理解も深まり園とつながっていることが実感できました。

何より、職員の皆さんが子ども達のために一生懸命保育に取り組んでいる姿に感謝しています。

今後、子ども達が思い切り羽ばたいて過ごせる環境になりますように願うばかりです。

八幡みなみ幼稚園の教育目標に沿って成長していかれることを望みます。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和 5年 3 月 20日